

モニタリング結果報告書 (2018年度)

1. 施設概要

施設名	東高根森林公園		
所在地	川崎市宮前区神木本町2丁目		
サイトURL	http://www.kanagawaparks.com/higazitakane/		
根拠条例	神奈川県都市公園条例(昭和32年神奈川県条例第7号)		
設置目的(設置時期)	公共の福祉の増進 (S53. 4. 25)		
指定管理者名	東高根森林公園パートナーズ		
指定期間	H27. 4. 1~R4. 3. 31 (2015年) (2022年)	施設所管課	都市公園課

2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応	
<p>・利用状況の評価はS、利用者の満足度の評価はS、収支状況の評価はBで、3項目評価はAとなった。</p> <p>・公園資源の積極的な活用と地域との連携によるイベントなどの利用促進が図られており、利用状況及び満足度も最高評価となっている。収支についてはB評価となっているが、収支差額はこの3年間で最低となっており、運営努力が見受けられた。今後、風致公園として管理と保全のバランスを考えた植物管理を実行すると共に管理方針を積極的に情報発信するなどの取組に期待したい。</p>	
<p><各項目の詳細説明></p> <p>◆管理運営等の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 提案に基づいて年間120回ほどのイベントを実施。また、開園40周年を記念しアーカイブ画像の放映やアジサイ祭りを企画するなど本公園の特徴を踏まえた利用促進が図られている。今後は管理運営に対して公園利用者や周辺住民等との合意形成についても進めてほしい。 <p>◆利用状況</p> <ul style="list-style-type: none"> イベントを企画、開催する等の利用促進に努めた結果、目標達成率は111.5%となり利用状況は、S評価となった。 <p>◆利用者の満足度</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定管理者による接客研修を全員受講するなどサービス向上に努めたことから、県が年間6回実施している調査では上位2段階の回答割合が92.3%となり、S評価となった。 <p>◆収支状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 支出実績は、118千円の赤字(収支比率99.78%)であるためB評価となっている。 <p>◆苦情・要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> 公園近接家屋に対しては越境木を段階的に剪定するなど苦情対応を行った。一方で公園利用者からはトイレ清掃の要望が多く見受けられたことから、定期清掃以外に朝夕の巡回時も清掃をするなどのトイレ美化に努めた。 <p>◆事故・不祥事等</p> <ul style="list-style-type: none"> パークセンター事務所にて発生した窃盗未遂事件については、専門業者による修繕及び施錠の徹底により再発防止を行った。 <p>◆労働環境の確保に係る取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 県による監査、労働基準監督署からの指摘事項はない。 <p>◆その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 以上を総合的に勘案し、平成30年度の3項目評価についてはA評価とした。 	
3項目評価	<p>S : 極めて良好</p> <p>A : 良好</p> <p>B : 一部改善が必要</p> <p>C : 抜本的な改善が必要</p> <p>※3項目評価とは、3つの項目(利用状況、利用者の満足度、収支状況)の評価結果をもとに行う評価をいう</p>
A	

3. 月例・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	無し	
現場確認	実施日	特記すべき事項があった場合はその内容
	毎月1～2回程度	
随時モニタリングにおける指 導・改善勧告等の有無	有・ 無	指導・改善勧告等の内容

4. 管理運営等の状況

[指定管理業務]

事業計画の主な内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
多種多様な生物の有する豊かな生態系の保全・育成を行う。	湿生植物園のヘドロの浚渫やシラカシ林内の下草刈りを実施するなどし良好な環境を維持している。	梅林の樹勢回復や芝生復旧に向け来年度は着実に実施していただきたい。
公園の魅力(歴史・文化・自然)を教材とした学習の機会を創出する。	歴史・文化体験型は計34回、自然体験型は計30回実施している。特に自然体験型の田んぼの学校は好評を得ている。ただし、「みんなで行うモニタリング調査」については園内植物等の目録作成まではいたっていない。	学習や体験の場がイベント時だけではなく、パークセンター内の常設展示や屋外展示を工夫するなど日常の公園利用者も意識した新たな企画が望まれる。また、モニタリング調査に計画性を持たせ園内植物等目録の完成が望まれる。
専門技術や知識を持つ方々と連携し、学習内容やプログラムを充実する。	外部講師やアマチュア団体等と連携した利用促進は51回実施している。	
地域に活動情報を計画的に提供するほか、地域活動に積極的に参加する。	小中学校の総合学習やインターシップを実施。防災訓練や収穫祭、高齢者福祉施設との積極的な連携など世代間交流に対する取組を実施している。	地域との情報共有がよりスムーズになるような体制機能強化が望まれる。

[参考：自主事業]

事業計画の主な内容	実施状況等
有料駐車場事業による利便性の向上、安全確保、緑化協力金の徴収を行う。	提案どおり実施している。
既存自動販売機の継続設置。	提案どおり実施している。
古代植物園内の万葉集に関連する植物を紹介するガイドブックを発刊する。	企画中であり、発刊に至っていない。新元号が万葉集から出典されたことを受け再構想中。次年度に発刊予定。
イベントでのオリジナルグッズの販売	イベント時に勾玉キットの販売などを実施。

5. 利用状況

評価	《評価の目安》 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。
S	社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）があれば記載してください。

	前々年度	前年度	2018年度
利用者数※	365,760	376,126	390,108
対前年度比		102.8%	103.7%
目標値	350,000	350,000	350,000
目標達成率	104.5%	107.5%	111.5%

目標値の設定根拠： 提案書記載の目標値

利用者数の算出方法（対象）： 駐車台数から推計

※ 原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

6. 利用者の満足度

評価	《評価の目安》 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合的評価の「満足」回答割合で行う
S	

	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
満足度調査の実施内容	指定管理者による簡易アンケートは通年、詳細アンケートは年2回実施	本報告書では、県による休日3回、平日3回の計6回調査の結果を使用する。指定管理者による接客研修を全員で受講するなどしサービス向上を意識しているのが見受けられる。前年度と同様に利用者から高い満足度を得ている。

[サービス内容の総合的評価]

質問内容 公園の管理運営を総合的にみるといかがでしたか。

実施した調査の配布方法 利用者に直接配布 回収数/配布数 134 / 134 = 100.0%

配布(サンプル)対象 利用者に直接配布

	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
サービス内容の総合的評価の回答数	78	42	2	8	0	130	スタッフの対応が良い
回答率	60.0%	32.3%	1.5%	6.2%	0.0%		
前年度の回答数	66	35	2	7	1	111	
前年度回答率	59.5%	31.5%	1.8%	6.3%	0.9%		
回答率の対前年度比	100.9%	102.5%	85.4%	97.6%	0		

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

7. 収支状況

評価	《評価の目安》 収支差額の当初予算額：0円の施設が該当 収入合計／支出合計の比率が S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満
B	

[指定管理業務]

(単位:千円)

		収入の状況				支出の状況	収支の状況		
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入 の主な内訳	収入合計	支出	収支差額	収支比率
前々年度	当初予算	46,169	0	9,176	駐車場6,220 自販機2,956	55,345	55,345	0	
	決算	46,169	0	9,475	駐車場6,763 自販機2,712	55,644	56,726	-1,082	98.09%
前年度	当初予算	46,169	0	8,944	駐車場6,460 自販機2,484	55,113	55,113	0	
	決算	46,169	0	8,601	駐車場5,933 自販機2,668	54,770	55,114	-344	99.38%
2018年度	当初予算	46,169	0	9,160	駐車場6,291 自販機2,869	55,329	55,329	0	
	決算	46,169	0	8,403	駐車場5,800 自販機2,603	54,572	54,690	-118	99.78%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数

(単位:千円)

2018年度 / 前年度 / 前々年度 /

<備考>

利用促進事業として行った、図鑑やグッズの販売による収益：167千円、イベント参加料：414千円により、マイナスの収支：118千円を補っている。(収入：55,153千円/支出：54,690千円=100.8%)

8. 苦情・要望等 該当なし

分野	報告件数	概要	対応状況
施設・設備	アンケート 2件	トイレが汚い。 授乳室を整備して欲しい。	見回り及び清掃の回数を増やすことで改善。 職員用休憩室を利用可能にすることで対応。
	口頭等 1件		
職員対応	アンケート 0件	職員が名札をつけていない。	毎朝の朝礼等で指導徹底することで改善。
	口頭 1件		
事業内容	アンケート 0件	ミルク用のお湯が欲しい。	授乳中の方に職員から声かけするなどして対応。
	アンケート 1件		
その他	アンケート 1件	蜘蛛の巣が多い 園内側溝を清掃して欲しい。 越境木を剪定して欲しい。	風致公園として通行に支障のある場所以外は積極的な除去はしていない説明を理解していただく。 台風シーズン前に清掃し改善。 要望に基づき対応し改善。
	口頭 3件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

9. 事故・不祥事等 □ 該当なし

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
H30. 5. 14	①事務所において窃盗未遂事件発生。男性1人を現行犯逮捕。 ②当日に現場状況確認。事務所を無人にすることのないように指示すると共に事務所出入りドアの建付不良により施錠ができない状態であったことから、専門業者による修繕を指示。 ③上記修繕及び施錠の徹底により再発を防止。 ④無 ⑤有：指定管理者県負担でドア改修。 ⑥無
H30. 7. 4	①パークセンター受付スタッフが熱中症による体調不良で病院搬送。 ②電話にて室内環境等について確認。全スタッフによる再発防止会議の実施を指導。 ③該当スタッフは7月6日より通常業務に復帰。既に着手していた県による空調新設工事が7月末に完了したことで問題解消。 ④無 ⑤無 ⑥無

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したのも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事に関して改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

10. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。